

報道発表資料  
令和8年3月17日  
国立国会図書館

## 「もっと知りたい、ポーランドの子どもの本～イラストレーター ピョトル・ソハとミツバチの絵本～」開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では例年、子ども読書の日になみ、子どもの本に関するイベントを開催しています。

今年はポーランド広報文化センターとの共催により、ポーランドのイラストレーターであるピョトル・ソハ氏をお招きし、手掛けた絵本『ミツバチのはなし』についてお話しいただくほか、翻訳家の足達和子氏にポーランドの児童書についてお話しいたします。

### 「子ども読書の日」とは

4月23日の「子ども読書の日」は、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）により、制定されました。この日、「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、文部科学省による「子どもの読書活動優秀実践校」表彰等が行われるほか、各地で子どもと読書に関する催しが行われます。

※報道に際して、国立国会図書館国際子ども図書館の名称は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」、と表記していただくよう、お願い申し上げます。

【お問合せ先】国立国会図書館 国際子ども図書館 企画協力課 03-3827-2041(直通)

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

## 【イベント概要】

日 時	2026（令和8）年4月19日（日）14時00分～16時00分
場 所	国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟3階 ホール
対 象	一般の方（中学生以上）
申 込 方 法	次のページにある申込フォームから、お申し込みください。 <a href="https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2026-02">https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2026-02</a> <b>定員：100名（事前申込制・先着順） 申込締切：4月13日（月）</b>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポーランド広報文化センターによるポーランドの紹介</li> <li>・ 足達和子氏講演「日本に紹介されたポーランドの児童文学」</li> <li>・ ピョトル・ソハ氏講演「桜の国のミツバチ—日本が桜の国になったのはミツバチのおかげ？—」</li> </ul>
参 加 費	無料
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソハ氏の講演はポーランド語で行われ、日本語の逐次通訳があります。</li> <li>・ 3月31日（火）から4月26日（日）まで、ポーランドや、ピョトル・ソハ氏及びその作品を紹介するパネル（ポーランド広報文化センター提供）をホールに展示します。</li> </ul>

## 【ピョトル・ソハ（Piotr Socha）氏 略歴】



ワルシャワの美術アカデミーでイラストレーションを学ぶ。多くの新聞や雑誌で活躍。1999年、ポーランドのテレビ番組のグラフィックデザインコンクールで優勝。

邦訳された絵本に『ミツバチのはなし』（ピョトル・ソハ絵、ヴォイチェフ・グライコフスキ文、武井摩利訳、原野健一日本語版監修、徳間書店、2018）（原題『PSZCZOŁY』）がある。

## 【足達 和子（あだち かずこ）氏 略歴】



東京生まれ。法政大学卒業後、ワルシャワ大学に留学。在学中に執筆した『日ポ・ポ日小辞典』が1982年にワルシャワで出版された。帰国後、ポーランド航空日本支社勤務、静岡産業大学講師などを経て、現在は通訳・翻訳に従事する。

児童書の訳書に『ちいさなはなよめぎょうれつ』（ナルツィザ・ジミホフスカ作、布川愛子絵、偕成社、2019）、『アウローラの仕事場』（ロクサーナ・イエンジェイエフスカ・ヴルベル著、ヨナ・ユング絵、未知谷、2024）など多数。